

**横浜市立 神大寺小学校 学校評価報告書 (令和元～3年度)**

重点取組分野	令和元年度		総括	重点取組分野	令和2年度		総括	重点取組分野	令和3年度		総括
	具体的取組	自己評価結果			具体的取組	自己評価結果			具体的取組	自己評価結果	
確かな学力	①カリキュラムマネジメントにより授業改善を図る。プログラミング教育の導入のために「情報教育学習プログラム」を編纂する。一人ひとりの児童の学力の向上を目指し、少人数指導や一部教科担任制の責任制など指導方法の工夫に取り組み。②家庭と連携して、学習習慣の定着に取り組む。	①プログラミング教育に関しては、研究校の情報収集や授業指導案を模索している状況である。今後学習プログラムを編纂する。一人ひとりの児童の学力の向上を目指し、少人数指導や一部教科担任制の責任制など指導方法の工夫に取り組み。②家庭と連携して、学習習慣の定着を図る。	B	確かな学力	①一人ひとりの児童の学力の向上を目指し、算数の少人数指導や一部教科担任制を導入して学習指導の工夫改善に取り組む。また、学習支援のステップアップについては国語と算数が選択できるようにする。②学年だよりや懇談会等を通して、家庭学習の定着化を図る。	①学級の増加により空き教室が減ったため、算数の少人数指導が3年ぶり実施できた。3年から6年で一部教科担任制を導入して学習指導の工夫改善に取り組む。また、学習支援のステップアップについては国語と算数が選択できるようにする。②学年だよりや個人面談等を通して、家庭学習の定着化を図る。	B	確かな学力	①一人ひとりの児童の学力の向上を目指し、教科担任制や少人数指導を継続して学習指導の工夫改善に取り組む。また、学習支援のステップアップについては国語と算数が選択できるようにする。②学年だよりや個人面談等を通して、家庭学習の定着化を図る。その際、タブレットを有効活用する。今後の学びのスタイル、環境、評価を整える必要がある。	①一人ひとりの児童の学力の向上を目指し、教科担任制や少人数指導を継続して学習指導の工夫改善に取り組む。また、学習支援のステップアップについては国語と算数が選択できるようにする。②学年だよりや個人面談等を通して、家庭学習の定着化を図る。その際、タブレットを有効活用する。今後の学びのスタイル、環境、評価を整える必要がある。	B
	豊かな心	①道徳の授業の充実のために「被災地理解学習プログラム」を実施する。確かな人権感覚、意識を育成するために、「人権教育学習プログラム」などにも計画的に取り組む。②豊かな感性や情懷を育成するために、体験学習、音楽や芸術に積極的に取り組む。	①被災地理解学習プログラム、人権教育学習プログラム等が学年で取組に差が生じた。②各学年で校内行事や校外行事において、体験学習を行うことができた。③学校の特色である歌(歌声コンサート)や音楽(音楽会)や芸術に触れる体験、読書活動、異学年交流活動(交歓給食・音楽パーティーなど)に取り組む。		B	豊かな心	①コロナのこを含め、差別・偏見の防止に向けて全校的取り組み。学校生活・コロナ禍の中で育った児童のふたふたの心や6年の宿泊体験学習を実施できたが、その他の活動は実施することができなかった。②豊かな感性や情懷を育成するために、できる範囲の中で学芸会、学年行事、社会見学会、読書活動、社会見学会、芸術鑑賞、音楽鑑賞活動、異学年交流活動などに取り組む。		①コロナのこを含め、差別・偏見の防止に向けて全校的取り組み。学校生活・コロナ禍の中で育った児童のふたふたの心や6年の宿泊体験学習を実施できたが、その他の活動は実施することができなかった。②豊かな感性や情懷を育成するために、できる範囲の中で学芸会、学年行事、社会見学会、読書活動、社会見学会、芸術鑑賞、音楽鑑賞活動、異学年交流活動などに取り組む。	B	豊かな心
健やかな体	①自分から運動に親しみ、体力向上に取り組もうとする姿勢を育成するために、体力向上1校1実践運動、トリムコースの活用、体育的行事などに取り組む。②自分から生活習慣の改善、健康増進や健康な生活を送ろうとする意識を高めるために、食育や健康教育に取り組む。	①各学年大鑑集会を通して、運動の日常化を図ることができた。登校後、中休み、昼休みには校庭でボール遊びやおにごっこ等を楽しむ姿が見られた。②収穫体験で育てた野菜を調理して給食の実践生活を送ろうとする意識を高めるために、食育や健康教育に取り組むことができた。	B	健やかな体	①児童が運動会への確保をするため、大鑑集会を通して運動の日常化を図る。また、体育の準備運動でトリムコースの活用を図る。②生活の自立・健康増進・安全な生活を実現するために、身の回りの生活環境改善を把握し、自分から安全に注意して行動できるように取り組む。また、給食の残食量を削減できるように配慮等を工夫する。	①体育の準備運動などでトリムコースの活用はできたが大鑑集会を通して運動の日常化を図ることは困難であった。②呼びかけをしているが、休み時間走り回りぶつかるて怪我等をすることがあり、注意喚起を強化して行動できるように取り組む。給食の残食量を、牛乳や乳製品以外において、昨年度より削減することができた。	B	健やかな体	①児童が運動会への確保をするため、できる範囲の中で体育授業をはじめ、体育の準備運動や生活の向上を目指したトリムコースの活用を図る。②生活の自立・健康増進・安全な生活を実現するために、自分から安全に注意して行動できるように取り組む。引き続き注意喚起を強化して行動できるように取り組む。給食の残食量をさらに削減できるように配慮等を工夫する。	①児童が運動会への確保をするため、できる範囲の中で体育授業をはじめ、体育の準備運動や生活の向上を目指したトリムコースの活用を図る。②生活の自立・健康増進・安全な生活を実現するために、自分から安全に注意して行動できるように取り組む。引き続き注意喚起を強化して行動できるように取り組む。給食の残食量をさらに削減できるように配慮等を工夫する。	B
	キャリア教育	①自己肯定感を向上させるために、目標の設定や振り返りのある学習に取り組む。コミュニケーション力を向上させる学習プログラムや活動に取り組む。②集団の課題を主体的に解決する力を育成するために、様々な集団活動や地域貢献・社会参画に関する体験に取り組む。	①学年・学校行事を通して、学級や学年の目標より取り組むことで、自己肯定感を向上させることができた。②異学年交流活動(交歓給食など)を実施したり、地域の行事に参加したりすることを通して、集団での役割や地域に貢献することができた。		B	キャリア教育	①制限されている中であったが、学級や学年の活動において、できる範囲の取組を行った。また、今年度より始めた自分づくりノートの導入もできた。②1年の防災教室、2年の収穫体験、3年の消防体験、4年の防災センター、5年の日産工場は実施することができた。		①制限されている中であったが、学級や学年の活動において、できる範囲の取組を行った。また、今年度より始めた自分づくりノートの導入もできた。②1年の防災教室、2年の収穫体験、3年の消防体験、4年の防災センター、5年の日産工場は実施することができた。	B	キャリア教育
国際教育	①「外国語活動」「外国語科」を通して、外国語(英語)に親しみ、②Uによる授業やアンプカに力をつける。③一貫運動等によって外国の文化に触れ、また、日本の文化を学習することで、国際理解の態度を育成する。	①年間を通してAETも含め英語の授業研究に取り組む。次年度の新学期指導要領に向けての準備や確認をすることができた。また、授業の充実を図る。②①の外国語活動・Uによる授業を通して、スリランカやスターの文化を学習することができた。	A	国際教育	①「外国語活動」「外国語科」を通して、積極的コミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。②AETおよびUと交流を通して、様々な国の文化を学習したり、外国語の音や挨拶などの身近な表現に慣れ親しんだりするようにする。	①「外国語活動」「外国語科」を通して、児童が意図的に外国語活動に取り組む姿があった。②AET・Uの授業の積み重ねがあり、児童が安心して英語学習を楽しんでいる様子が見られた。また、授業研究会を通して、授業づくりや評価について研修を深めることができた。	A	国際教育	①「外国語活動」「外国語科」を通して、児童が意図的に外国語活動に取り組む姿があった。②AET・Uの授業の積み重ねがあり、児童が安心して英語学習を楽しんでいる様子が見られた。また、授業研究会を通して、授業づくりや評価について研修を深めることができた。	①「外国語活動」「外国語科」を通して、児童が意図的に外国語活動に取り組む姿があった。②AET・Uの授業の積み重ねがあり、児童が安心して英語学習を楽しんでいる様子が見られた。また、授業研究会を通して、授業づくりや評価について研修を深めることができた。	B
	児童指導	①問題行動の防止や適切な指導のために、アンケートや面談により児童の状況把握を行い、校内や関係機関と情報共有しつつ、組織的な対応を行う。②適切な特別支援教育を行うために、関係機関との連携や研修を実施し、保護者との連携や児童生徒との交流活動などに計画的に取り組む。	①できるだけ早期発見、早期対応を心掛けて取り組む。関係機関とも連携を図ることができた。組織的な対応ができていない部分もあった。②特別支援教育では保護者や関係機関との連携を図ることができたが、不登校対策について課題が残っている。		B	児童指導	①素早い情報共有の対応や怪我・事故防止のための校内巡回や呼びかけをより強化し、体制を整える。②Uによる授業を実施する。③関係機関との連携を図る。④不登校対策を実施する。⑤関係機関との連携を図ることができた。保護者や児童に寄り添いながら、より適切な支援ができるよう取り組む。③事業に対してチームで対応することの徹底を図った。		①問題行動の防止や適切な指導のために、アンケートや面談により児童の状況把握を行い、校内や関係機関と情報共有しつつ、組織的な対応を行う。②適切な特別支援教育を行うために、関係機関との連携や研修を実施し、保護者との連携や児童生徒との交流活動などに計画的に取り組む。	A	児童指導
信頼される学校づくり	①安全な環境づくりのために、施設管理を徹底し、防災、防犯等に対する計画を立て、訓練・指導を実施する。②保護者への信頼を高めるために、適切な広報活動を行う。また、児童や保護者の入学・進学時の不安の軽減のために、計画的な入学準備、幼保小連携、小中連携等を行う。	①施設に不備が発見されたときは、早期に整備を行うに努めた。月に1回の避難訓練を実施し、避難経路の検討や確認を行うことになった。②定期的な広報活動を通して広報活動を行う。また、児童や保護者からの今後の課題である、幼保小中連携を図り、適切な対応ができるように継続する。	B	信頼される学校づくり	①安全な環境づくりのために、施設管理を徹底し、防災・防犯等に対する計画を立て、訓練・指導を実施する。②学校だよりや保護者だりなどの発行、定期的な広報活動を通して広報活動を行う。また、児童や保護者の入学・進学時の不安を軽減するために、計画的な入学準備や幼保小中連携等を行う。	①特別教室の定期的な設置やフェリス等の整備を行った。エコーン防犯訓練を実施することができなかった。②学校だよりや保護者だりなどの発行に定例的に発行できるよう努めた。HPは掲載内容を直し、定期的に更新する中で、計画的な入学準備や幼保小中連携等を行う。	A	信頼される学校づくり	①安全な環境づくりのために、施設管理を徹底し、防災・防犯等に対する計画を立て、訓練・指導を実施する。②学校だよりや保護者だりなどの発行、定期的な広報活動を通して広報活動を行う。また、必要に応じてメール配信を活用する。③児童や保護者の入学・進学時の不安を軽減するために、計画的な入学準備や幼保小中連携等を行う。	①ラポートの整備を行った。定期的な防犯訓練を実施することはできなかった。②学校だよりや保護者だり、給食だりなどは定期的な発行を行った。HPは掲載内容を直し、定期的に更新する中で、計画的な入学準備や幼保小中連携等を行う。③児童や保護者の入学・進学時の不安を軽減するために、計画的な入学準備や幼保小中連携等を行う。	A
	地域連携・学校運営協議会	①地域の人的・物的資源を活用した児童の学習活動や学校振興活動の推進に取り組む。また、社会教育との連携や学校施設の有効利用など地域の協働を図る。②中学校ブロック協議会の効果的な連携や協働を図る。③中学校ブロック協議会の効果的な連携や協働を図る。④中学校ブロック協議会の効果的な連携や協働を図る。	①地域の人的・物的資源を活用した児童の学習活動や学校振興活動の推進に取り組む。また、社会教育との連携や学校施設の有効利用など地域の協働を図る。②中学校ブロック協議会の効果的な連携や協働を図る。③中学校ブロック協議会の効果的な連携や協働を図る。④中学校ブロック協議会の効果的な連携や協働を図る。		B	地域連携・学校運営協議会	①野菜的収穫体験学習、防犯教室、消防体験活動を実施することができた。また、大宮区による学習支援も実施することができた。②今年度授業参観も実施することができた。③今年度授業参観も実施することができた。④今年度授業参観も実施することができた。⑤今年度授業参観も実施することができた。⑥今年度授業参観も実施することができた。⑦今年度授業参観も実施することができた。⑧今年度授業参観も実施することができた。⑨今年度授業参観も実施することができた。⑩今年度授業参観も実施することができた。⑪今年度授業参観も実施することができた。⑫今年度授業参観も実施することができた。⑬今年度授業参観も実施することができた。⑭今年度授業参観も実施することができた。⑮今年度授業参観も実施することができた。⑯今年度授業参観も実施することができた。⑰今年度授業参観も実施することができた。⑱今年度授業参観も実施することができた。⑲今年度授業参観も実施することができた。⑳今年度授業参観も実施することができた。㉑今年度授業参観も実施することができた。㉒今年度授業参観も実施することができた。㉓今年度授業参観も実施することができた。㉔今年度授業参観も実施することができた。㉕今年度授業参観も実施することができた。㉖今年度授業参観も実施することができた。㉗今年度授業参観も実施することができた。㉘今年度授業参観も実施することができた。㉙今年度授業参観も実施することができた。㉚今年度授業参観も実施することができた。㉛今年度授業参観も実施することができた。㉜今年度授業参観も実施することができた。㉝今年度授業参観も実施することができた。㉞今年度授業参観も実施することができた。㉟今年度授業参観も実施することができた。㊱今年度授業参観も実施することができた。㊲今年度授業参観も実施することができた。㊳今年度授業参観も実施することができた。㊴今年度授業参観も実施することができた。㊵今年度授業参観も実施することができた。㊶今年度授業参観も実施することができた。㊷今年度授業参観も実施することができた。㊸今年度授業参観も実施することができた。㊹今年度授業参観も実施することができた。㊺今年度授業参観も実施することができた。㊻今年度授業参観も実施することができた。㊼今年度授業参観も実施することができた。㊽今年度授業参観も実施することができた。㊾今年度授業参観も実施することができた。㊿今年度授業参観も実施することができた。		B	地域連携・学校運営協議会	①地域の人的・物的資源を活用した児童の学習活動や学校振興活動の推進に取り組む。また、社会教育との連携や学校施設の有効利用など地域の協働を図る。②中学校ブロック協議会の効果的な連携や協働を図る。③中学校ブロック協議会の効果的な連携や協働を図る。④中学校ブロック協議会の効果的な連携や協働を図る。
いじめへの対応	①いじめの未然防止のために、学校いじめ防止基本方針に基づき、アンケートや面談により児童の状況把握を行い、組織的に対応すること。②いじめを生まない集団づくりのための指導を計画的に行う。③学校いじめ防止基本方針に基づき、保護者との連携や関係機関との連携を推進する。	①アンケートや面談、状況把握等の情報から早期発見を心掛け、職員への周知とともに組織的に対応することができた。②事実を明確するとともに、被害者・加害者への対応および保護者や関係機関との連携を図ることができた。	B	いじめへの対応	①いじめの未然防止のために、学校いじめ防止基本方針に基づき、アンケートや面談により児童の状況把握を行い、組織的に対応すること。②いじめを生まない集団づくりのための指導を計画的に行う。③学校いじめ防止基本方針に基づき、保護者や関係機関との連携を推進する。	①未然防止のために、アンケートや面談による児童の状況把握を行った。また、学年別いじめに関する授業を通して未然防止に努めた。②研修を通して、素早く正確な情報共有の体制づくりを推進し、より適切な対応を図る。関係機関との連携を図ることができた。	B	いじめへの対応	①いじめの未然防止のために、学校いじめ防止基本方針に基づき、アンケートや面談による児童の状況把握を行った。また、学年別いじめに関する授業を通して未然防止に努めた。②研修を通して、素早く正確な情報共有の体制づくりを推進し、より適切な対応を図る。関係機関との連携を図ることができた。	①未然防止のために、アンケートや面談による児童の状況把握を行った。また、学年別いじめに関する授業を通して未然防止に努めた。②研修を通して、素早く正確な情報共有の体制づくりを推進し、より適切な対応を図る。関係機関との連携を図ることができた。	A
	人材育成・組織運営(働き方改革)	①キャリアステージに応じた人材育成を行うために、キャリア・企画会、週一会などの開催と各種研修を推進する。②校内組織が効率良く機能するために、「会議ガイド」「組織ガイド」や評価指標に基づき適切な学校評価を活用して、組織運営の改善に取り組む。また、業務改善や適切な労務管理を実施し、働き方改革を推進する。	①初任から6年目・リーダー対象研修・人材育成・キャリア・企画会(管理職・主幹)などの開催と各種研修を推進する。②校務分掌が効率良く機能するために、校内組織ガイドや学校運営評価を定期的に行う。③キャリア教育・学年主任を合わせた働き方改革の推進。④ワークライフバランスの推進。⑤キャリア教育・学年主任を合わせた働き方改革の推進。⑥ワークライフバランスの推進。⑦キャリア教育・学年主任を合わせた働き方改革の推進。⑧ワークライフバランスの推進。⑨キャリア教育・学年主任を合わせた働き方改革の推進。⑩ワークライフバランスの推進。⑪キャリア教育・学年主任を合わせた働き方改革の推進。⑫ワークライフバランスの推進。⑬キャリア教育・学年主任を合わせた働き方改革の推進。⑭ワークライフバランスの推進。⑮キャリア教育・学年主任を合わせた働き方改革の推進。⑯ワークライフバランスの推進。⑰キャリア教育・学年主任を合わせた働き方改革の推進。⑱ワークライフバランスの推進。⑲キャリア教育・学年主任を合わせた働き方改革の推進。⑳ワークライフバランスの推進。㉑キャリア教育・学年主任を合わせた働き方改革の推進。㉒ワークライフバランスの推進。㉓キャリア教育・学年主任を合わせた働き方改革の推進。㉔ワークライフバランスの推進。㉕キャリア教育・学年主任を合わせた働き方改革の推進。㉖ワークライフバランスの推進。㉗キャリア教育・学年主任を合わせた働き方改革の推進。㉘ワークライフバランスの推進。㉙キャリア教育・学年主任を合わせた働き方改革の推進。㉚ワークライフバランスの推進。㉛キャリア教育・学年主任を合わせた働き方改革の推進。㉜ワークライフバランスの推進。㉝キャリア教育・学年主任を合わせた働き方改革の推進。㉞ワークライフバランスの推進。㉟キャリア教育・学年主任を合わせた働き方改革の推進。㊱ワークライフバランスの推進。㊲キャリア教育・学年主任を合わせた働き方改革の推進。㊳ワークライフバランスの推進。㊴キャリア教育・学年主任を合わせた働き方改革の推進。㊵ワークライフバランスの推進。㊶キャリア教育・学年主任を合わせた働き方改革の推進。㊷ワークライフバランスの推進。㊸キャリア教育・学年主任を合わせた働き方改革の推進。㊹ワークライフバランスの推進。㊺キャリア教育・学年主任を合わせた働き方改革の推進。㊻ワークライフバランスの推進。㊼キャリア教育・学年主任を合わせた働き方改革の推進。㊽ワークライフバランスの推進。㊾キャリア教育・学年主任を合わせた働き方改革の推進。㊿ワークライフバランスの推進。		A	人材育成・組織運営(働き方改革)	①キャリアステージに応じた人材育成を行うために、キャリア・企画会、週一会(管理職・主幹)などの開催と各種研修を推進する。②校務分掌が効率良く機能するために、校内組織ガイドや学校運営評価を定期的に行う。③キャリア教育・学年主任を合わせた働き方改革の推進。④ワークライフバランスの推進。⑤キャリア教育・学年主任を合わせた働き方改革の推進。⑥ワークライフバランスの推進。⑦キャリア教育・学年主任を合わせた働き方改革の推進。⑧ワークライフバランスの推進。⑨キャリア教育・学年主任を合わせた働き方改革の推進。⑩ワークライフバランスの推進。⑪キャリア教育・学年主任を合わせた働き方改革の推進。⑫ワークライフバランスの推進。⑬キャリア教育・学年主任を合わせた働き方改革の推進。⑭ワークライフバランスの推進。⑮キャリア教育・学年主任を合わせた働き方改革の推進。⑯ワークライフバランスの推進。⑰キャリア教育・学年主任を合わせた働き方改革の推進。⑱ワークライフバランスの推進。⑲キャリア教育・学年主任を合わせた働き方改革の推進。⑳ワークライフバランスの推進。㉑キャリア教育・学年主任を合わせた働き方改革の推進。㉒ワークライフバランスの推進。㉓キャリア教育・学年主任を合わせた働き方改革の推進。㉔ワークライフバランスの推進。㉕キャリア教育・学年主任を合わせた働き方改革の推進。㉖ワークライフバランスの推進。㉗キャリア教育・学年主任を合わせた働き方改革の推進。㉘ワークライフバランスの推進。㉙キャリア教育・学年主任を合わせた働き方改革の推進。㉚ワークライフバランスの推進。㉛キャリア教育・学年主任を合わせた働き方改革の推進。㉜ワークライフバランスの推進。㉝キャリア教育・学年主任を合わせた働き方改革の推進。㉞ワークライフバランスの推進。㉟キャリア教育・学年主任を合わせた働き方改革の推進。㊱ワークライフバランスの推進。㊲キャリア教育・学年主任を合わせた働き方改革の推進。㊳ワークライフバランスの推進。㊴キャリア教育・学年主任を合わせた働き方改革の推進。㊵ワークライフバランスの推進。㊶キャリア教育・学年主任を合わせた働き方改革の推進。㊷ワークライフバランスの推進。㊸キャリア教育・学年主任を合わせた働き方改革の推進。㊹ワークライフバランスの推進。㊺キャリア教育・学年主任を合わせた働き方改革の推進。㊻ワークライフバランスの推進。㊼キャリア教育・学年主任を合わせた働き方改革の推進。㊽ワークライフバランスの推進。㊾キャリア教育・学年主任を合わせた働き方改革の推進。㊿ワークライフバランスの推進。		A		
ブロック内評価後の気づき	中学校ブロックの学校運営協議会を含め、小中合同授業研究会にも運営協議会委員の地域住民や学識経験者の方々に参加していただき、児童・生徒の取組や学校の様子を共有することができた。また、小中合同担当委員会を通して、各学校の年間行事予定を調整することができた。教科別の協議会では小中学校の新学習指導要領に合わせ身に着けていく。9年間で専任・専任を明確にし、学習内容の確認や継続しての指導の工夫など話し合うことができた。児童支援専任・生徒指導専任を中心に児童・生徒の情報交換も深めることができた。	今年度は新型コロナウイルスによる教育活動全体の制限があるため、授業研究会が中止になるなど、ブロック内で協議をしたり、情報を共有したりする場を持つことができなかった。その中でも自分づくり教育(キャリア教育)では、各校の資質・能力系統に基づいた指導を確認することができた。年度後このような状況の中でも小中一貫の在り方を考えていくとともに、昨年度の課題であった学校規模に応じた授業研究会の持ち方の検討を行ってきたい。	B	ブロック内評価後の気づき	今年度は新型コロナウイルスによる教育活動全体の制限があるため、授業研究会が中止になるなど、ブロック内で協議をしたり、情報を共有したりする場を持つことができなかった。その中でも自分づくり教育(キャリア教育)では、各校の資質・能力系統に基づいた指導を確認することができた。年度後このような状況の中でも小中一貫の在り方を考えていくとともに、昨年度の課題であった学校規模に応じた授業研究会の持ち方の検討を行ってきたい。	今年度も新型コロナウイルスによる教育活動全体の制限があるため、授業研究会が中止になるなど、ブロック内で協議をしたり、情報を共有したりする場を持つことができなかった。その中でも自分づくり教育(キャリア教育)では、各校の資質・能力系統に基づいた指導を確認することができた。年度後このような状況の中でも小中一貫の在り方を考えていくとともに、昨年度の課題であった学校規模に応じた授業研究会の持ち方の検討を行ってきたい。	B	ブロック内評価後の気づき	今年度も新型コロナウイルスによる教育活動全体の制限があるため、授業研究会が中止になるなど、ブロック内で協議をしたり、情報を共有したりする場を持つことができなかった。その中でも自分づくり教育(キャリア教育)では、各校の資質・能力系統に基づいた指導を確認することができた。年度後このような状況の中でも小中一貫の在り方を考えていくとともに、昨年度の課題であった学校規模に応じた授業研究会の持ち方の検討を行ってきたい。	今年度も新型コロナウイルスによる教育活動全体の制限があるため、授業研究会が中止になるなど、ブロック内で協議をしたり、情報を共有したりする場を持つことができなかった。その中でも自分づくり教育(キャリア教育)では、各校の資質・能力系統に基づいた指導を確認することができた。年度後このような状況の中でも小中一貫の在り方を考えていくとともに、昨年度の課題であった学校規模に応じた授業研究会の持ち方の検討を行ってきたい。	B
	学校関係者評価	スクリーン対面協議会において保護者や地域からの設備要望等に対して、警察署・土木事務所・区役所等で視察した結果、横断歩道の補修やストップマークの新設など改善を図ることができた。今後もこの通学路を安全なものにするために協議したい。PTA主催の地域ケアラザより介護支援専門員を講師として、認知症サポーター養成講座を開催したことは、認知症を正しく理解すること、身近な認知症の方々に温かい眼差しを向けることができる温かい町づくりの一助となり大変よかった。子どもたちのために誰でも参加できる持続可能なPTA活動を目指して取り組んでいる。	地域ケアラザを利用しての皆さんから、手作りで作られた雑巾を学校に寄付していただき、実際に活用している様子を伝えたところ、お互いにより相乗効果をもつことができた。校外学習で農業体験に移動するときに、マナーを守って行動できている様子を地域の方から評価され、児童の自己肯定感を向上させることができた。消防体験では児童との活動を通して、消防署員の方からも非常に貴重な体験をすることができたこと高く評価されている。		B	学校関係者評価	地域ケアラザで作られた雑巾を学校に寄付していただき、実際に活用している様子を伝えたところ、お互いにより相乗効果をもつことができた。校外学習で農業体験に移動するときに、マナーを守って行動できている様子を地域の方から評価され、児童の自己肯定感を向上させることができた。六角橋中ブロックの学校運営協議会は1回だけ実施できたが、各校の現状を報告し合い、共有することができた。		地域ケアラザで作られた雑巾を学校に寄付していただき、実際に活用している様子を伝えたところ、お互いにより相乗効果をもつことができた。校外学習で農業体験に移動するときに、マナーを守って行動できている様子を地域の方から評価され、児童の自己肯定感を向上させることができた。六角橋中ブロックの学校運営協議会は1回だけ実施できたが、各校の現状を報告し合い、共有することができた。	B	学校関係者評価
中期取組目標振り返り	次年度から新学習指導要領が全面実施されるため、新たに導入される外国語・外国語活動について、より効果的な学習指導ができるよう1月に実施した。運動会においては恒例の9月下旬に実施したが、猛暑対策を考慮することや地域行事との連携も考慮でき、次年度は10月中旬に実施することにした。働き方改革の観点から、職員が行っていたボール清掃と教室のフックがけ作業を削減した。全体の80%が40歳未満、20歳代が55%の年齢構成であり、メンターチームをはじめ人材育成を行っている課題は多い。	今年度は新学習指導要領が全面実施されるようになって、新型コロナウイルスの影響を考慮した上で、できる範囲の中で教育課程を編成した。各校中の各学年の学習課題を通して、再開後・教科担当制を取り入れるなどの工夫をすることで、学習進度を合わせることもできた。新たに導入された外国語・外国語活動については、より効果的な学習指導や適切な評価ができるよう1年間を通して指導・研修を含めた研修等を行うことができた。運動会においては分散型で実施したが、10月中旬に実施したことで最終手戻り対応を回避することができた。全体的に経験年数が少ない職員構成であるため、学年主任クラスの人材育成と組織の力による自己肯定感を高めること、来年度も児童指導・学校経営の柱として、だれが安心して、豊かに学校生活を送ることができるよう、学校・地域・家庭が連携し取り組むたい。	B	中期取組目標振り返り	今年度は新学習指導要領が全面実施されるようになって、再開後・教科担当制を取り入れるなどの工夫をし、年間を担任という意識で授業や学習に取り組む。また、より効果的な学習指導や適切な評価ができるよう1年間を通して指導・研修を含めた研修等を行うことができた。運動会においては分散型で実施したが、10月中旬に実施したことで最終手戻り対応を回避することができた。全体的に経験年数が少ない職員構成であるため、学年主任クラスの人材育成と組織の力による自己肯定感を高めること、来年度も児童指導・学校経営の柱として、だれが安心して、豊かに学校生活を送ることができるよう、学校・地域・家庭が連携し取り組むたい。	今年度は新学習指導要領が全面実施されるようになって、再開後・教科担当制を取り入れるなどの工夫をすることで、学習進度を合わせることもできた。新たに導入された外国語・外国語活動については、より効果的な学習指導や適切な評価ができるよう1年間を通して指導・研修を含めた研修等を行うことができた。運動会においては分散型で実施したが、10月中旬に実施したことで最終手戻り対応を回避することができた。全体的に経験年数が少ない職員構成であるため、学年主任クラスの人材育成と組織の力による自己肯定感を高めること、来年度も児童指導・学校経営の柱として、だれが安心して、豊かに学校生活を送ることができるよう、学校・地域・家庭が連携し取り組むたい。	B	中期取組目標振り返り	今年度は新学習指導要領が全面実施されるようになって、再開後・教科担当制を取り入れるなどの工夫をし、年間を担任という意識で授業や学習に取り組む。また、より効果的な学習指導や適切な評価ができるよう1年間を通して指導・研修を含めた研修等を行うことができた。運動会においては分散型で実施したが、10月中旬に実施したことで最終手戻り対応を回避することができた。全体的に経験年数が少ない職員構成であるため、学年主任クラスの人材育成と組織の力による自己肯定感を高めること、来年度も児童指導・学校経営の柱として、だれが安心して、豊かに学校生活を送ることができるよう、学校・地域・家庭が連携し取り組むたい。	今年度は新学習指導要領が全面実施されるようになって、再開後・教科担当制を取り入れるなどの工夫をすることで、学習進度を合わせることもできた。新たに導入された外国語・外国語活動については、より効果的な学習指導や適切な評価ができるよう1年間を通して指導・研修を含めた研修等を行うことができた。運動会においては分散型で実施したが、10月中旬に実施したことで最終手戻り対応を回避することができた。全体的に経験年数が少ない職員構成であるため、学年主任クラスの人材育成と組織の力による自己肯定感を高めること、来年度も児童指導・学校経営の柱として、だれが安心して、豊かに学校生活を送ることができるよう、学校・地域・家庭が連携し取り組むたい。	B